

# 大分市公設地方卸売市場経営戦略（案）の概要について

## (1) 経営戦略について

本市場において、経営基盤の強化と財政マネジメントの向上を図るとともに、新鮮で美味しい生鮮食料品等を市民の皆様にも円滑かつ安定的に供給することができるよう、経営戦略(案)を策定しました。

なお、平成30年に策定した「大分市公設地方卸売市場個別施設計画」(以下、「個別施設計画」という。)に沿って、施設の定期的な点検や改修を行い、長寿命化を図っていくことを経営戦略の方針とします。

ただし、市場再整備の検討状況や財政状況等によって、適宜経営戦略の見直しを行います。

## (2) 経営の基本方針について

「安全・安心で美味しい生鮮食料品等の安定的な供給」

「公正かつ透明性のある市場取引の確保」

「効率的かつ持続可能な市場運営の確保」

以上の方針をもとに集荷機能・価格形成機能・分荷機能を向上し、食の安心・安全・安定的な供給を行います。

## (3) 投資・財政計画(収支計画)について※別紙参照

### ① 収支計画のうち投資について

市場再整備を検討していることから、二重投資とならないよう「個別施設計画」に沿って補修や施設改修を平準的に実施します。ただし、市場再整備の進捗状況により施設改修実施時期や経営戦略の変更等を適宜行います。

### ② 収支計画のうち財源について

経常収支比率100%以上を目標とし、達成のため以下の取り組みを実施・検討します。

- ・市場事業特別会計で賄えるよう、投資・財政計画を適切に実施します。
- ・中長期的な収支を検討し、適正な使用料とします。
- ・市場債を活用する場合、適切な借入を実施し、収支負担の軽減を検討します。
- ・選択可能な国庫補助金等を活用します。

### ③ 今後の投資について

民間活用	民間企業の資金や能力を活用するPPP/PFI手法の導入可能性の調査、研究を進めていきます。
投資の平準化	中長期的な施設改修等を検討し、市場会計の健全状態を維持します。
広域化	大分県内の他市場も市場の再整備を検討しており、広域化が可能かどうか今後調査、研究を進めていきます。
その他の取組	新たな市場機能としてコールドチェーン等が求められており、社会構造の変化や流通形態の変容など時代に即した市場の検討を行います。

## ④ 今後の財源について

使用料	人口の減少や、市場経由率の低下により売上高使用料は、減少傾向にある。今後も市民感謝デー等の開催など、大分ブランドの推進を図り、取扱高の維持を目指します。また出荷者が市場に求めるコールドチェーンや物流機能の強化に合わせて、使用料の適正化を検討します。
企業債	中長期的な投資計画をもとに、関係各課と連携しながら適切な企業債の借入を行います。
繰入金	現在、一般会計からの繰入金はありませんが、今後市場再整備等の投資が必要となった際は、関係各課と連携し、繰出基準内での運用を検討します。
資産の有効活用等による収入増加の取組	施設の改修や、施設自体に付加価値を付けるなど、新たな収入源を検討し、施設使用料や行政財産使用料の増収を検討します。

## (4) 公営企業として実施する必要性について

### ① 事業の意義、提供するサービス自体の必要性

多量・多品目の商品を集荷する集荷機能、集荷した商品の価格をせりで決定する価格形成機能、小売店等の必要量に応じて商品を売買する分荷機能という3つの機能を有し提供するという役割を担っており、市場事業は市民生活に必要不可欠な事業です。

### ② 公営企業として実施する必要性

安心安全で美味しい生鮮食料品等を適正な価格で安定的に供給し、食生活の安定と生産者の利益を守るという役割を有し維持する必要性があり、公益性の高い事業であるため公営企業として実施する必要があります。

## (5) 経営戦略の事後検証、改定等について

毎年度、投資・財政計画との整合性を検証し、計画と乖離する場合は適宜修正します。また、経営戦略を見直す必要が生じた場合は、速やかに改定し、公表を行います。

